

たかのす

昭和62年

10月1日

No.609

発行日 毎月 1日・15日

◆編集と発行 壱巣町役場総務課広報秘書係

◆印刷所 KK秋 北 新 聞 社



米代川の清流に

手造りイカダを漕ぎだす

第1回米代川イカダくだり大会が9月15日摩当橋より坊沢大橋までの約7キロメートルのコースで開催され、町内外より17チームが工夫を凝らしたイカダで挑戦しました。当日は好天に恵まれスタート地点の摩当橋は見物人でいっぱい。米代川の水量は少なく各チームとも悪戦苦闘の連続でしたが、チームワークと馬力にまさる鷹巣体育館チームが見事優勝しました。

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

8月31日現在		(前月比)
総人口	24,719人	(29人増)
(出生)	16人	転入 71人
(死亡)	10人	転出 48人
男	11,999人	(12人増)
女	12,720人	(17人増)
世帯数	7,305世帯(3世帯増)	

9月定例町議会

鷹巣町工場設置促進条例を改正

誘致企業に優遇措置

一般会計

三億五千三百三十三万一千円を補正

鷹巣球場を大改修

▽一般会計補正予算

一般会計は、歳入歳出予算の総額に、それぞれ三億五千三百三十三万一千円を追加して、総額五十一億二千四百四十三万五千円となりました。

〔歳出の概要〕

十六万円、林業構造改善事業九百八十八万二千円、除伐、作業道開設工事四百五十万円、間伐促進総合対策事業二百七十七万三千円、湯の岱温泉とりつき廊下設計委託工事千百二十四万五千円、テクノサテライト企業育成事業五百五万円。

▼たくましく柔軟な産業の町づくりのために

三十三万二千円、障害児保育事業百九十六万二千円、保育事業三百二十五万円、陸上競技場管理棟設計委託百十九万円、スキー場管理棟補修工事三百二十五万円、鷹巣球場改修工事三千五百五万円、体育館維持工事百九十万円。

▼ゆとりある個性のある教育文化の町づくりのために

三十三万二千円、障害児保育事業百九十六万二千円、保育事業三百二十五万円、陸上競技場管理棟設計委託百十九万円、スキー場管理棟補修工事三百二十五万円、鷹巣球場改修工事三千五百五万円、体育館維持工事百九十万円。

▼国民健康保険特別会計補正予算

以上が一般会計補正予算の概要です。

各種特別会計

東京鷹巣会結成に推進交付金

推進交付

金二十一

歳入歳出それぞれ五百三十四万円を追加し、総額十一億七千二百五十八万円となりました。

歳入は、国庫支出金（財政調整交付金）五百万円、繰越金三十四万円。歳出は、一般管理費三十四万円、賦課徴収費五百万円。

綴子農免農道を整備

主なものとして、水田地域輪作法確立事業三千二百五十二万円。

綴子農免農道整備事業二百九十一万七千円。団体営土地総合開発調査設計費補助金百九十九

米代川河川公園に事業費

道路維持、新設改良事業二千七百七

十万円、国道一〇五号線東鷹

橋開通式負担金五十万円、南中学校グランド整備一百万円、公民館整備事業二百一十万円。

都市計画街路事業三百七万四千円、都市下水路整備事業三

千三百三十万五千円、農業・

林業、公共土木等災害復旧事

業一億八千四十八万二千円。

出金＝七千百四十二万円、内訳は公共土木災害復旧事業七千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

十二万九千円、障害児保育事

業補助金百九十三万六千円、

費補助金三百九十一万六千円、

地方交付税＝七千四百三十

一万五千円、▽分担金及び負

担金＝百十七万円、▽国庫支

出金＝七千百四十二万円、内

訳は公共土木災害復旧事業七

千六百四十二万円、都市公

事業五百萬円減額、▽県支

出金＝八千百九十九万五千円、

内訳は、三歳未満児保母設

置費補助金三百九十一万六千円、

私立保育園保母設置費補助八

▼老人保健特別会計補正予算
歳入歳出それぞれ十五万円を追加し、総額十三億七百五十七万二千円となります。歳入は全額支払基金交付金であります。

▼鷹巣町工場設置促進条例の全部を改正する条例

経済構造の変化に伴い、企業の要望に対し奨励措置を拡大、企業誘致を促進するため。内容は、一企業につき年額三百万円の雇用奨励金の交付、操業奨励金の交付や固定資産税の課税を免除とするもの。

決定した議案

▼町道路線の認定について
あけぼの町五号線（栄字前綱）、同六号線（栄字中綱）

同七号線（同）、米代川堤防線（鷹巣字本屋敷）、綴子字高野）、交流センター一号線（材木町）、同二号線（同）、石の巻線（鷹巣字平崎上岱）、脇神字東陣場岱）、大野尻三号線（坊沢字深閑沢）、田中二号

▼町道路線の廃止について
米代川堤防線（鷹巣字本屋敷（栄字下悪土）、掛泥田中綱（綴子字田中）の町道を廃止する。

決定した条例

▼辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

黒沢・蟹沢・三ノ渡辺地に係る総合整備計画の事業費変更によるものである。

決定した人事議案

▼教育委員の任命について
任期満了にともない、元町四番十五号 渡屋昭一郎（59）の再任に同意したものです。

▼栄財産区管理会委員の選任について

任期満了にともない、成田多一郎（71）、小坂守孝（62）

亀山俊三（54）、田村広士（60）

藤島三郎（61）の各氏の選任に同意したもので。

▼人権擁護委員候補者の推せんについて

任期満了にともない、住吉（72）

▼土地造成工事委託契約の一
部変更について

工事の契約金額が貸付利率の引き下げにより、三百十二万九千二百二十一円減額し、六

決定した専決処分

決定した請願

七日市字大畠西ノ内三番地畠山清吾（70）の二人の推せんに同意したもので。

額し、三千百十萬百八十八円にそれぞれ契約変更したものである。

六十一年度水道事業決算を認定

利益は一千三百八十一万一千円

千四百五万二千五百四円に、流未処理排水工事の契約金額を百七十八万九百二十一円減額し、三千百十萬百八十八円にそれぞれ契約変更したものである。

▼義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書

決定した意見書

▼老人保健特別会計補正予算
歳入歳出それぞれ十五万円を追加し、総額十三億七百五十七万二千円となります。歳入は全額支払基金交付金であります。

▼鷹巣町工場設置促進条例の全部を改正する条例

経済構造の変化に伴い、企業の要望に対し奨励措置を拡大、企業誘致を促進するため。内容は、一企業につき年額三百万円の雇用奨励金の交付、操業奨励金の交付や固定資産税の課税を免除とするもの。

決定した議案

▼町道路線の認定について
あけぼの町五号線（栄字前綱）、同六号線（栄字中綱）

同七号線（同）、米代川堤防線（鷹巣字本屋敷）、綴子字高野）、交流センター一号線（材木町）、同二号線（同）、石の巻線（鷹巣字平崎上岱）、脇神字東陣場岱）、大野尻三号線（坊沢字深閑沢）、田中二号

▼町道路線の廃止について
米代川堤防線（鷹巣字本屋敷（栄字下悪土）、掛泥田中綱（綴子字田中）の町道を廃止する。

決定した条例

▼辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

黒沢・蟹沢・三ノ渡辺地に係る総合整備計画の事業費変更によるものである。

決定した人事議案

▼教育委員の任命について
任期満了にともない、元町四番十五号 渡屋昭一郎（59）の再任に同意したものです。

▼栄財産区管理会委員の選任について

任期満了にともない、成田多一郎（71）、小坂守孝（62）

亀山俊三（54）、田村広士（60）

藤島三郎（61）の各氏の選任に同意したもので。

▼人権擁護委員候補者の推せんについて

任期満了にともない、住吉（72）

▼土地造成工事委託契約の一
部変更について

工事の契約金額が貸付利率の引き下げにより、三百十二万九千二百二十一円減額し、六

百一万円で前年より二百十五五千円となりました。有収水量率は前年の八四・九%から六十一年度は八九・三%と四・四%の伸びとなつております。

経営状況は、総収益が一億一千四百九十六万八千円余りで前年に比べ百十三万五千円増加し、給水収益では給水量の減少にもかかわらず一億八千百六十四円となりました。その結果内部留保金の残額は千五百九十五万三千四十七円となり、減債積立金の残額は本年度の処分計上額を加算するものとして千四百三十四万七千五百七十円、また、利益積立金残額は五百九十万円、起債残高は二億六千八百五万四千百七十七円となつております。

六十一年度決算は特別委員会で審査

会計般 一億九千九百万円余り繰越す

昭和六十一年度一般会計および国民健康保険特別会計、各財産区特別会計など十三会計の決算認定は、例年どおり決算特別委員会を構成して、審査することになりました。

審査中の十三会計はいずれも黒字で決算。十三会計の収入合計は八十八億六千六百九十一万二千円、支出合計は八十四億六千六百四十四万五千円で差し引き四億四十六万七千円の黒字となっています。

選挙人名簿定時登録者数
(62. 9. 2 現在)

投票区	男	女	計
鷹巣第1	951	1,100	2,051
鷹巣第2	917	1,123	2,040
鷹巣第3	949	1,122	2,071
南鷹巣	783	871	1,654
摩当	268	296	564
太田	192	195	387
掛泥	392	428	820
綴子	738	841	1,579
田子ヶ沢	94	103	197
岩谷	45	43	88
糠沢	374	391	765
田中	394	419	813
坊沢	599	670	1,269
緑ヶ丘	144	159	303
黒沢	28	30	58
今泉	221	249	470
前山	195	229	424
坊山	82	86	168
小森	214	230	444
沢口	240	260	500
川口	129	135	264
七日市	542	580	1,122
葛黒	135	136	271
竜森	104	102	206
明利又	44	51	95
合計	8,774	9,849	18,623

予算執行状況では、予算に對し収入済額が一億二千五百六十万七千円の収入増となっています。

主なものは、町税四千百七十八万五千円、自動車取得

税交付金三百五十六万円、地方交付税六千七百七十万二千円、使用料及び手数料千二百四十四万八千円、国庫支出

金二百十六万円、財産収入三百四十三万五千円などが収入増。地方譲与税百七十八万四千円、分担金及び負担金二百二十万五千円、県支出金百八十三万二千円などが収入減となりています。

一方歳出では、予算額五十九億九千三百六十万四千円に

今野助役が 町長職務代理に

出川町長は、九月二十八日から十月九日までの十二日間、県町村長海外研修視察により米国を訪問することになりましたので、この期間、地方自治法第一五二条第一項の規定により、今野助役が町長の職務を代理することになります。

たのでお知らせします。

渡辺茂雄
委員長：佐藤元一
委員：細田興市、武田佐市郎、藤嶋絹藏、河田隆一、今川清太郎、

成メンバーは次のとおりです。
△委員長：永井与藏
△副委員長：佐藤元一
△委員：細田興市、武田佐市郎、藤嶋絹藏、河田隆一、今川清太郎、

渡辺茂雄

1日(月)＝鷹巣郵便局において、昭和六十三年営業年度簡易保険、郵便年金の出発式が行われ、目標達成を願いあいさつをしました。

5日(土)＝県北地区高校

新人陸上競技大会。第三十

九回郡市中学校駅伝大会が

開催され、絶好の体育日和に熱戦が展開された。

9日(火)＝九月定例町議

会が十八日までの十日間の

会期で開かれ、六十一年度

に実に大きな成果を収めた。

10日(木)～15日(敬老の日)＝特別養護老人ホーム

青山荘の敬老式を始め、七

地区で敬老式が行われた。

今年度の対象者は満七十一歳以上、男八百五十六人、女一千三百二十三人、計二千百七十九人である。また、全県百歳軟式庭球大会も開催された。軟式庭球は日本で開発された種目と言われ、コートの広さも日本人の体

は、県より派遣された職員で、特色ある学校教育の充

各会計の決算、補正予算外の各議案を提案、審議に入る。

12日(土)＝鷹巣阿仁部教育事務協議会創立二十周年記念式典。当協議会は鷹巣阿仁部の五ヶ町村の教育委員長、教育長を委員として構成、主として管内の小中学校の教職員の指導研修と人事について、広域的に対処することが目的。事務局は、県より派遣された職員で、特色ある学校教育の充



町長印
出川

9月1日～15日

力に適し、一面八百平方㍍で土地利用の面で効率的であり、六十代、七十代の方でも充分な好プレーが開かれている。昨今ママさんの参加が非常に多く、それを反映して、全県規模の大会が各地区で開かれ、ペアで百歳大会など年々盛況を呈している。平均寿命の伸び、余暇の増大、健康の維持に多くの中高年に庭球を奨めたいものである。

第17回県民スポーツ大会で

鷹巣勢が大活躍

バスケットは4度目の優勝



県民のスポーツによる交流と体力づくりを目的に第17回県民スポーツ大会が九月六日から九月二十七日までの土、日曜日に秋田市などで開催され、当町から役員、選手三百人の参加があり各種目に熱戦が展開されました。

主な成績は次のとおりです。

〔陸上競技〕

■男子A組（三十歳未満）▽百四十位小塚重光
三位小塚重光▽千五百二十位中島忍▽五千一百位中島忍（16分44秒4）

〔陸上競技〕

■男子C組（五十歳未満）▽百四十位簾内順一▽砲丸投

■男子D組（五〇歳以上）▽百四十位藤木秀雄（15秒2）▽七〇代百四十位戸嶋源太郎▽砲丸投一位成田久雄

■女子B組▽砲丸投一位佐藤久美子（7歳36歳）

■市町村対抗四百四十レー

位（出川喜英）▽高橋智

村上幸義（佐藤要）48秒1

（寺園太志）▽畠山秀光

簾内順一小塚重光

〔軟式庭球〕▽優勝（千葉久雄）成田昭康成田詳一片岡伸悦（藤島和政）

〔バスケットボール〕▽優勝（杉沢政）▽藤島悟（畠山和幸）松岡英敏（長崎篤市）

一神成義人（浪岡秀紀）佐藤忠裕（畠山孝秀）小塚重光（千葉和仁）

〔バレーボール〕▽壮年の部

準優勝（成田隆男）河田武弘

柴田耕造（小笠原俊郎）長崎幹

原数雄（長谷川隆司）齊藤富郎（中島礼司）

位出川喜英（四位高橋智）五位畠山秀光▽四百四十位津谷勝美（58秒9）▽三千一百三十位高橋喜久雄▽走幅跳一位津谷徳男（11秒68）

位津谷勝美（五〇歳未満）▽百四十位簾内順一▽砲丸投一位成田久雄▽走幅跳一位寺園太志（五〇歳以上）▽百四十位戸嶋源太郎▽砲丸投一位成田久雄

位（出川喜英）▽高橋智

村上幸義（佐藤要）48秒1

（寺園太志）▽畠山秀光

簾内順一小塚重光

〔軟式庭球〕▽優勝（千葉久雄）成田昭康成田詳一片岡伸悦（藤島和政）

〔バスケットボール〕▽優勝（杉沢政）▽藤島悟（畠山和幸）松岡英敏（長崎篤市）

一神成義人（浪岡秀紀）佐藤忠裕（畠山孝秀）小塚重光（千葉和仁）

〔バレーボール〕▽壮年の部

準優勝（成田隆男）河田武弘

柴田耕造（小笠原俊郎）長崎幹

原数雄（長谷川隆司）齊藤富郎（中島礼司）

「体育の日」みんなで参加しましょう

受付)

■第23回町民駅伝大会

- ▼期日 10月10日
- ▼場所 鷹巣競技場
- ▼日程 選手、役員集合 8時30分
開会式 9時
競技開始 9時30分

▼チーム編成

- ▷青年の部（19.6km） 各地区1チーム以上
- ▷職場の部（19.6km） 単一職場でチーム編成をする。
- ▷壮年一部（11.2km） 35歳以上地区対抗とする。
- ▷壮年二部（9km） 45歳以上地区対抗とする。

▼区間 各種目とも6区間とする

- ▼フリーマラソン（2.6km） 自由参加とし、全員に記録証を授与します（当日

■歩こう会

- ▼場所、日程とも町民駅伝大会と同じです
- ▼コース 競技場→深閑→深閑沢→坊沢→相善→競技場
- ▼距離 6km（所要時間 2時間）
- ▼トランパン、ズックまたは低いクツで参加してください
- ▼参加者全員に完歩証を授与します

※運動をすると ▽糖代謝が活発になる ▽頭脳に活力を与える ▽筋力、体力を強化する ▽血管の老化を防ぐ ▽ストレス解消に役立つ

町内の敬老式は九月十日の青山荘を皮切りに、十三日三地区、十五日四地区と計八カ所で盛大に開催されました。

今年の対象者は二千百七十九人と昨年より百四十九人が増加しています。最高齢者は青山荘の和田タツさん九十八歳です。

式典当日はいずれも好天に恵まれ、老人たちは家族や友人同志で連れだって会場に向う

長寿を祝へ



▲『愛車』を押して会場へ



◀郷土芸能に大喜び

足どりも軽く、元気いっぱいでした。
どの会場も婦人会を中心に運営され、心くしの『ごちそうや』お酒のおもてなしにご満悦でした。
また、婦人会や子供たちによる踊りや歌に大きな声援を送り、笑いのたえない、楽しい一日となりました。



▽向黒沢橋の架橋について
長年の懸案事項であり、
数年来関係機関等に働きか
けてきたところ、本年度よ

る会」は、八月三十一日午
後七時から部落会館にお
いて開催されました。

出川町長の町政の概要報
告のあと、地域の要望事項
について次のとおり答弁し
ました。

向黒沢地区の「町長と語
る会」は、八月三十一日午
後七時から部落会館にお
いて開催されました。

り県営農免農道整備事業と
して工事が始まることを確
認しております。今後は早
期完工実現に向けて、尚一
層の努力をしてまいります。

▽摩当部落から向黒沢方面
の道路標識とカーブミラー
の設置について――県道と町
道の交差点ということもあ
りますが、関係機関と協議
し、早急に設置したい。

▽行き止り解消策について
田代町外川原との
道路については、行
政区域が異なる問題
と、田代町の動向も
考慮しなければなら
ないので、圃場整備
事業が終了するまで
検討する時間を持
てほしい。

▽水道に砂が入つて
くる――関係課に連絡
し、直ちに調査させ
ます。

「非願の橋」農免事業で架橋

向黒沢地区「町長と語る会」

足どりも軽く、元気いっぱいでした。

どの会場も婦人会を中心に運営され、心くしの『ごちそうや』お酒のおもてなしにご満悦でした。

また、婦人会や子供たちによる踊りや歌に大きな声援を送り、笑いのたえない、楽しい一日となりました。

▶明治、大正、昭和を生きぬいてきた顔
久しぶりの再会に話がはずむ▼

▲88歳には鳩杖が贈られました

心づくしの
おもてなし



女優の和泉雅子さんが、
鷹巣高校創立二十周年記念
講演会で「私（マコ）だけ
の北極点北緯88度40分」と
題し、講演しました。

和泉さんは「映画のロケ
で南極へ行つて、大自然の
素晴らしさに感激し、それ
では地球の反対側、北極を
見てみようと思った。その
後、登校拒否の少年と約束
したのが、北極点挑戦のき
っかけ」と切り出したあと、
零下四五度の耐寒訓練の嚴
しさや北極での食生活等、
厳寒の北極圏六十二日間の
冒險談をスライドを交えな
がら、ユーモアたっぷりに
話されました。

百年に一度の暖冬のため
わずか、百四十八キロ先に
北極点をのぞみながら、大
きな氷の障害のため、北緯
88度40分で踏破を断念
したときについては、「悔
しくてテントの中で、一日
中泣き通した。死のうと思
つたこともあつたが、生き
ていればもう一度チャンス
があると自分にいい聞かせ
た」と語り、「北極点には
立てなかつたけど、お金で
は買えない『信用』『誠実』
『思いやり』『頑張る心』
そして『命の大切さ』など
多くを学んだ……と講演。
生徒たちに「お金がすべて
ないで、そして頑張る心、
あきらめないこと、毎日の
生活の中で小さくともいい
から目標をもつて努力し、
自分がけの『北極点』を見
つけてほしい」と結び、会
場の大きな感銘を呼んでい
ました。

ごぞんじですか



兒童福祉制度

◆児童扶養手当について

十八歳未満（中度以上の障害を有する場合は二十歳未満）の子どもがいる母子家庭に支給される手当です。
対象は、離婚、父の死亡、などあります。

▼資格喪失する場合

現在手当を受給している方で、次のような状況になつたときは資格を喪失しますので、すぐに届出をしてください。なお、届出がおくれますと、さかのぼつて手当を返還していただることになります。

▽手当を受けている人が公的年年金を受けることができる

▽児童が父または母の死亡によって支給される公的年金を受けられるようになつた。
▽父に支給される公的年金の額の加算の対象となつた。
事実婚についての範囲について説明します。
以上ですが、特にその中で事実婚についての範囲について説明します。
事実婚の範囲については、児童扶養手当法上婚姻には事実婚が含まれ、配偶者にはいわゆる内縁関係にある者が含まれる（法第三条第三項）
事実婚あるいは内縁関係とは、婚姻の届出を欠くが、社会通念上当事者間に夫婦として認められるものである。

和五十三年四月二日以後に生まれた児童を含む三人以上の児童を養育する者 昭和六十三年度は昭和五十七年四月一日以後生まれた児童を含む一人以上の児童を養育する者、となりました。 昭和六十二年度において、認定請求された方、また、現況届を提出している方は、あらたに請求する必要はありませんが現況届や認定請求を亡んでいる方は、至急手続を完了するようしてください。

◆母子家庭及び寡婦家庭住宅整備資金の貸付について

は、婚姻のあるいは内縁関係と事実婚あるいは内縁関係と会通念上当事者間に夫婦としての共同生活と認められる事実関係が存在することである。また、事実婚は原則として同居していることを要件とするが、別居していてもひんぱん

定期的に生計費の補助を受け

てある場合あるいは母子が税

くわしくは、町民課福祉係
まで問い合わせてください。

町職員初級資格試験

町職員採用資格試験を行います。受験希望者は、秋田県町村職員(初級)採用統一試験要領により、受験申し込みください。

初級職員

- | | |
|----------|---|
| ■採用予定人員 | 一般行政事務職員 若干名 |
| ■受験資格 | 昭和37年4月2日～昭和45年4月1日生まれ |
| ■試験日(一次) | 11月8日(日) 二次試験は一次試験合格者について通知します。 |
| ■試験場 | 秋田経済法科大学 |
| ■申込受付 | 9月21日(月)から10月12日(月)まで、「勤務時間内」に役場総務課庶務係(二階)に申し込みください。 |
| ■住所要件 | (1)鷹巣町に住所(住民登録)を有している者。
(2)町外に就職または就学のため、鷹巣町から転出した者で、世帯主(両親等)が鷹巣町に住所(住民登録)を有している者。 |

秋田内陸北線中岱

踏切が廃止になります

秋田内陸北線鷹巣・小ヶ田間中岱踏切が十一月一日から廃止になりますので、上中岱踏切をご利用ください。

秋田内陸北線鷹巣・小ヶ田間中岱踏切が十一月一日から廃止になりますので、上中岱踏切をご利用く

子供にもっと手伝いさせよう

移動スギの子ひろば



子どもがすこやかに成長してほしいという願いから、県と町の教育委員会では、九月十八日中央公民館で、家庭教育巡回相談事業として、"移動スギの子ひろば"を開設しました。

会場には、乳幼児をもつお母さんが多数参加。子供のしつけや健康管理などについて相談を受けるとともに、大館保健所長・岩尾昌子氏から、「子供の健康管理としつけ」と題して講演が行われました。要旨は次のとおりです。

子供は三歳頃で脳が九〇%形成され、自我が確立され

くる。三歳児検診で落着きがない子がいるが、子供の性格といふよりも、家庭内の不和や家族の病気などによることがある。

五歳で鉛筆けずりを

親は子供を冷静に見る目と子供の立場にたって考えることが大切である。乳児が泣くことは自己アピールのシグナルであり、ミルクがほしい、眠むい、オシッコをもらしたと反応はさまざまである。

いまの子供はナイスで鉛筆を削れない。ナイフをもたせたら危ないという、過保護的

ならぬ。都会の子は、中学生の男の子でも共稼ぎ家庭では、食事の手伝いをしているし、自から食事の手伝いもしない。都会の子は、中学生もある。もっと子供に役目をもたせて手伝いをさせることが必要である。

川氏が村長に選ばれたこと

は、彼の小学校長時代の人徳によるものであつた。當時、村長は村議会で選舉することになつて、議員の中から選ばれるのが通例で、議席を持たない指揮官が村長に選ばれたこと

は、親そのものが持ち方が悪いという例が多い。もっと悪い例がある。それは親の手本となる親になるべきだ。

中学三年で動脈硬化

昭和八年四月二十日、七

九年村議会は満場一致で指

川長太郎を村長に推選した。川長太郎は、大正十五年、乞われて再び七年市小学校長となり、昭和五年定年退職、同六年七月市信用組合長、同八年村長に就任、三期目の同年九年死去し村葬で送られる。彼は庶民的な中に豪放磊落、大胆で小事にこだわらず、学校でも役場でもよく下職員を信頼し気持ちよく伸びのびと働かせた。

在任中、村有林が国有林に編入されているということで訴訟を起こし、専門家学者等の力を借りて争い「坊川百万円事件」として話題になつた。結局敗訴になると、後日當林署の仲介で和解し、村に特別なことをあつた時は便誼をはかるというとりきめがあつたので、新制中学校校舎建築に大きく役立つた。(資料 女婿長岐準三夫妻、旧役場職員畠山清吾氏談)

指川長太郎
一八七四—一九四四

人物伝



文責 長崎 久

秋田師範を卒業、由利郡塙越小、北秋綴子小訓導を経て同二十五年一月、七日市小学校長となる。以来十三年勤め、大正五年北海道に渡るが、大正十五年、乞われて再び七年市小学校長となる。昭和五年定年退職、同六年七月市信用組合長、同八年村長に就任、三期目の同年九年死去し村葬で送られる。彼は庶民的な中に豪放磊落、大胆で小事にこだわらず、学校でも役場でもよく下職員を信頼し気持ちよく伸びのびと働かせた。

在任中、村有林が国有林に編入されているということで訴訟を起こし、専門家学者等の力を借りて争い「坊

川百万円事件」として話題になつた。結局敗訴になると、後日當林署の仲介で和解し、村に特別なことをあつた時は便誼をはかるというとりきめがあつたので、新制中学校校舎建築に大きく役立つた。(資料 女婿長岐準三夫妻、旧役場職員畠山清吾氏談)

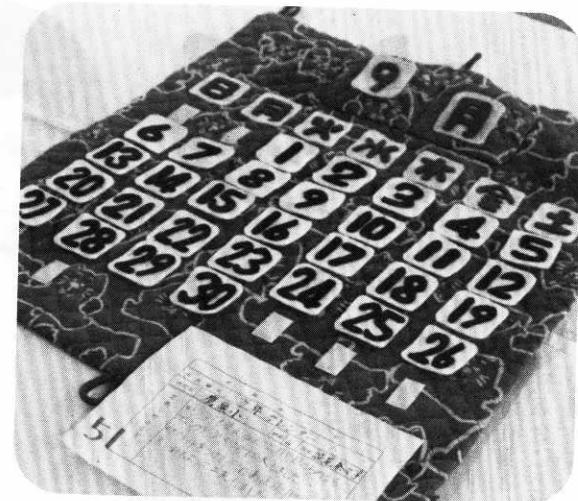


社会人野球の頂点に立つ

第1回町社会人野球チャンピオン大会は9月13日鷹巣球場で開催され、我町の実力ナンバーワンを競いました。出場チームは職場とおはよう野球の優勝、準優勝各2チームが出場。決勝はおはようの鷹巣代表を戦ったバッファローと鳳クラブが対戦、白熱した試合となりましたが2対0で鳳クラブが初の栄冠に輝きました。

淨運寺の鐘楼に43年ぶりに梵鐘が取りつけられ9月13日壇信徒多数見守るなか厳かに披露されました。梵鐘は昭和19年に没収され「不在」となっていましたが、昨年高岡市の専門メーカーに製作費450万円で発注。重さ837kg、口径91cmと以前の梵鐘よりひと回り大きい。鐘の音に参列者は昔に思いを巡らしていました。

43年ぶりに梵鐘の音が響く



チビッコ発明家大集合

第7回発明工夫展が9月5、6日の両日、中央公民館で開かれました。会場には100点を越す作品が展示され、どれも子供たちが夏休み中に知恵をしづって作った力作ぞろい。材料は身近なものから廃物利用など。審査員も優劣つけがたい作品に頭をひねっていました。町長賞には鷹小4年 笹尾奈々子さんの万年カレンダーが選ばれました。



第4回町老人クラブ連合会ゲートボール大会が公民館分館グラウンドで17チーム参加のもと、熱戦が展開されました。当日は雨模様で、所どころに水たまりができていましたが選手たちはものとせず、整備された11面のコートに日頃の成果を発揮、好ゲームの連続となりました。決勝は今泉Aが坊沢をくだし、念願の初優勝を飾りました。

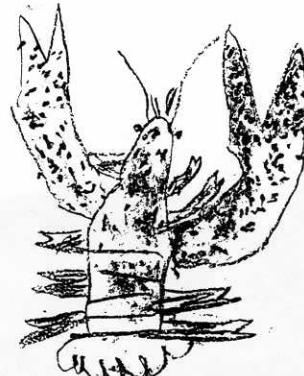
「雨ニモマケズ…」老人パワー爆発



の広場



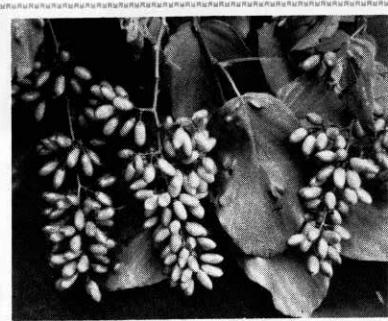
鷹巣教会幼稚園
ちばりゅうたくん（6歳）



東横町
長崎 京（59）

奉仕員として活躍

対談 親の意見・子供の意見 今月のテーマ『共同募金について』



クマヤナギ
(クロウメモドキ科)

日当たりのよい山地に生えるつる性の低木。秋、実が緑色から紅色になり、熟すると黒くなる。乾燥した茎葉を煎用すると、解熱、解毒、利尿、腰痛等に効果がある。

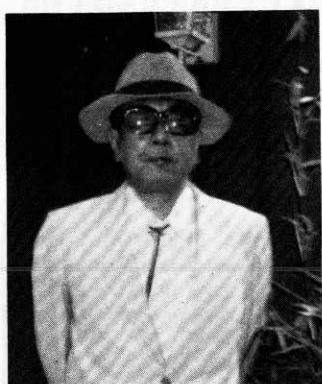
(七日市・畠山 益穂氏)

十月は、全国一斉に共同募金運動が展開されます。今年は「赤い羽根運動」四十周年を迎えると、聞かされております。私もこの四・五年奉仕員として街頭にまた戸別募金にと参加しております。福祉についてあまり考

事がなかつた人でも赤い羽根の季節が巡ってくると、心のどこかにチラッと福祉の事が頭をかきめる事かと思ひます。

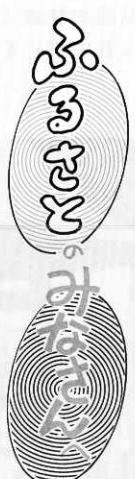
昨年街頭で、さも罰の悪そうにして、自転車を降りて三、四人の中学校の生徒さん達が「これ位でもいいでしょ?」
「無理しなくともいいのよ」と云つたけど募金して下さった事など思い浮かべ、また小学校の空かん募金には全校生徒の折鶴も添えられてあつたと聞いて居ります。この様な若い年代層から教えられる面

多く、今年もまた四十周年



東京都小平市 手島 寛（59）

美しい山河と温かい人情の街



去る六月、旧大中同期会出席の帰途鷹巣へ寄り戸島信男君のきめいで、九島君ならなかしの面々と久瀬を叙しつつ小学校時代の想い出にふける一刻を頂いた。本誌八月十五日号に紹介されている担任の故野呂万助先生の滋味溢れる授業、陣場岱のモツコかつぎ、冬の校庭での雪踏み、神社裏でのきもだめし、河啓君の豪邸の裏の小川で鮎釣りなど、戦時中であつた筈なのに辛い想い出は余りない。

終戦の年の春、進学と父切れる故郷である。一部の方にはご異論もあるが、鷹巣は市になつて欲しくない。鷹巣町であつてほしい。その方があの優しい鷹巣にぴつたりだと思ってる。鷹巣町で△手島さんは、㈱テレビ東京で事業部長として活躍中。

みんな

を節目と致しまして、みんなの幸せを高めるために、一人人が大きな役割を果たしたいものと思ております。

生徒会で街頭募金



鷹巣中 3年
高橋 裕樹

鷹巣町教会幼稚園
つや
まゆこちゃん（6歳）



鷹巣中学校生徒会では、毎年学校内での募金活動として、『緑の羽根』、『ユニセフ』、『歳末助け合い』などに参加してきました。生徒会執行部で計画し、各クラスの委員長が呼びかけて募金をするかたちで行っています。

広報のひ

ダイエット

実りの秋

と聞くと即座に肥満を連想する方も多いのではないかでしょうか。

プロポーションを気にするあまり、無理な減量をして体を悪くしてしまっては元も子もありません。正しい療法で自分に適した体重を維持することは、健康のためにも大切

しかし昨年の先輩達は、校内だけの募金から校外での募金へと活動の枠を広げ、初めて街頭募金を行い六万円もの善意がよせられました。今年も是非とも継承していきたい。さらに今年は、まだ計画段階ですが、ユニセフ募金にも全校で積極的に参加していきたいと思っています。執行部で勉強会を行い、鷹中祭で写真やポスターなどで全校生徒や来校者に呼びかけ、受け身の募金から一人一人が自分から参加する募金運動ができればよいと思っています。

なかなか難かしいことだと思いますが、生徒会活動の一つとして、これを目標にがんばっていきたい。

なこと。標準体重を目安に10%増以内におさまるよう、食生活計画を立ててみましょう。

必要なエネルギー量は、個人差がありますが、目安としては、成人男子一日千六百キログラム、成人女子が千四百キログラムです。間食を抑え、主食を控え目に欠食しないこと、夕食に重点をおかず、三食が平均するように食べるなども、健康ダイエットには大切な心構えです。



写真は、昭和27年頃の成仁商店、大川米屋、佐藤金吉酒屋など横町商店街。大火時には焼け残った場所ですが、昭和29年の都市計画で、店は移転され、米代町、東横町線の広い道路となり、信号機の設置や歩道の整備など交通量の多い交差点となつた。

(写真提供・新舟見町 阿部正夫氏)

たかのすの昔



